

東部海浜開発事業検討会議 会議報告 VOL.5

日時 平成19年3月17日 09時50分～17時30分
場所 泡瀬干潟～比屋根湿地～仮設橋梁～海上工事現場
検討会議委員(五十音順・敬称略)
伊良部光宏 岩田健吉 大田至 島田勝也(副座長) 高江州昌和
當山真由美 比嘉徹 藤田喜久 宮平栄治(座長) 藁科邦利

現地視察

泡瀬干潟とその周辺の環境、埋め立て工事現場の視察を行いました。
視察の目的は大きく2つ、「泡瀬干潟の価値を理解すること」、「これから何が作られようとしているのかを知ること」です。
その為に、泡瀬干潟、比屋根湿地、仮設橋梁、海上工事現場を、一日がかりで視察して回りました。

①泡瀬干潟

海洋生物の研究者である藤田委員の案内で、干潟の浄化機能、ここに住む生き物や環境の多様性等の多くのことを学びました。

干潟の浄化機能



干潟の働きによって、汚れた水がきれいに浄化されていきます。

藻場



密生した藻類は小さな生き物たちの絶好の隠れ場所であり、豊かな餌場でもあります。

干潟の生物



さまざまな小さな生物たちに出会うことができました。

干潟を脅かす脅威



垂れ流され続けている生活排水は、干潟の浄化作用を凌駕する脅威です。

干潟の多様性



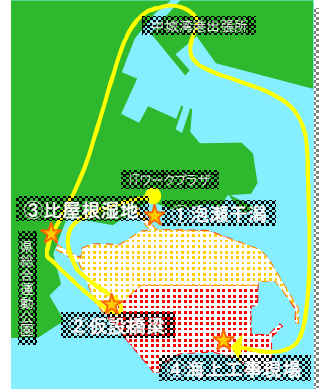
多様性がさまざまな生き物の住み分けを可能にしています。



各委員、気合を入れて干潟へ！



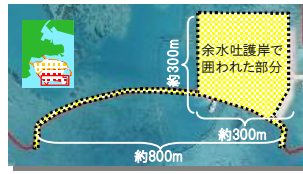
船で海上工事現場へ！



視察ルート

④海上工事現場

余水吐(よすいばき)護岸が完成していて、囲われた面積は面積は約9ha。人工島の面積のおおよそ5%の広さになります。中城湾港出張所で石材洗浄も確認しました。



余水吐護岸と人工ビーチ護岸



石材洗浄の様子

ホテル・ビーチ予定地からの景観



人工ビーチ予定地から望む景観は海が広がります。



人工ビーチ予定地の水質



水の透明度は高く、ルリスズメダイなどを見ることができました。



事業の進捗状況



これは埋立面積の約5%です。埋め立て面積を実感しました。



②仮設橋梁

環境と安全に最大限の配慮を行っているという説明の通り、非常に整理されキレイな現場でした。トカゲハゼ生息地である橋梁脇の泥場も視察しました。



状況の説明



浅海域の汚濁防止用の土嚢



トカゲハゼ生息地

③比屋根湿地

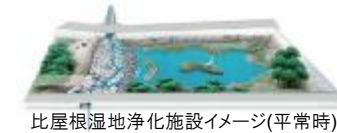
年々陸地化していく現状や湿地の浄化機能、多くの生き物の生息地となっていること、また、その様々な役割を保持するために整備の必要性があること等の説明を受けました。



多くの野鳥を確認できる



陸化状況の確認



比屋根湿地浄化施設イメージ(平常時)
比屋根湿地・泡瀬地区海岸整備専門部会 資料より

第6回検討会議は

4月14日(土) 13時30分～

沖縄市福祉文化プラザ 交流ホール

にて開催します。

議題は

1. 現地視察を終えて

2. 今後の流れ

3. 市民等の意見の聴取について

4. 「人工島事業理解のために」の疑問について 等です